

## 横浜市卓球協会スポーツセンター指導員心得・連絡事項

横浜市卓球協会 会長 河原 智

### (1) 資格について

- ・横浜市卓球協会登録会員であること
  - \* (公財)日本卓球協会登録・(一社)神奈川県卓球協会登録を横浜市卓球協会より登録している。
  - \* 在住、在勤、在クラブ等。
- ・公認スポーツ指導者登録をしていること。 \* 卓球公認指導員、卓球上級指導員など
- ・審判員の資格を持っていること。 \* 公認審判員・上級公認審判員など

### (2) 指導について

- ・指導者はリーダーとよく話し合い教室を運営していく。  
指導計画などリーダーを中心に行っています。協力し運営する。  
年齢層を考慮して、言葉遣いに気を付ける。基本の教え方などを具体的に行う。
- ・指導者は準備体操、整理体操を行う。  
教室により異なるが、必ず行う。ローテーションで行っている。  
ラジオ体操を行うSCもあり、生徒の模範となるように  
整理体操やストレッチなども学習しできるように。
- ・指導者は時間内で教室生と平等に打ち合っ指導する。 \* タイマーを使用する。
- ・指導者は指導者講習会等を基本にして自己流を押し付けない。再度希望するよう指導する。

### (3) 指導の停止について

- ・スポーツセンター、横浜市市民局、(公財)横浜市スポーツ協会に教室生からの苦情が来るとき。
- ・各スポーツセンターの遵守事項を守らないとき。

**上記の具体的な内容** \* 以下の項目に該当する場合指導を停止することがあります。

- ◎ 自分の関係している教室への勧誘活動、また私的な大会への  
勧誘活動、私的な営業活動、及び疑われる行為
- ◎ 指導中の厳しい（非難する等の）言葉遣い、品位を欠く行為
- ◎ (2) の指導ができないとき。

### (連絡事項)

#### 【指導員数の減少について】

コロナウイルス感染症の影響で、参加者が減少し、教室の指導員の数を減らされています。

- \* 2021年度より人数を工夫しました。< (例) 4人定員のところ5人の指導員を配置 > など
- \* 1人で2回を極力なくしました。

#### 【指導員の移動について】

- ・新人また指導歴の短い人が慣れる期間を作り、慣れてきたら別の場所・離れたところに移動をしてほしい。
- ・移動をお願いしている人はいつも移動をしている。全体のことを考えてほしい。

#### 【指導について】

- \* リーダー、サブリーダー(新規・2021年度より)を作り、協力して回してもらうようにしました。
- \* リーダー、サブリーダー中心に基本打法の指導方法を統一してください。
- \* 生徒さんからいろいろな要望があると思いますが、健康のため、友達作り、等のエンジョイする人が多いです。上手になりたい人は2~3割です。なかなか難しいですが、その生徒・個人にあった指導を心がけ工夫してください。(押し付けない)。

2022年度も、コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続くと考慮されます。何とか皆様の協力で楽しい・活気のある卓球教室を創り上げたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。